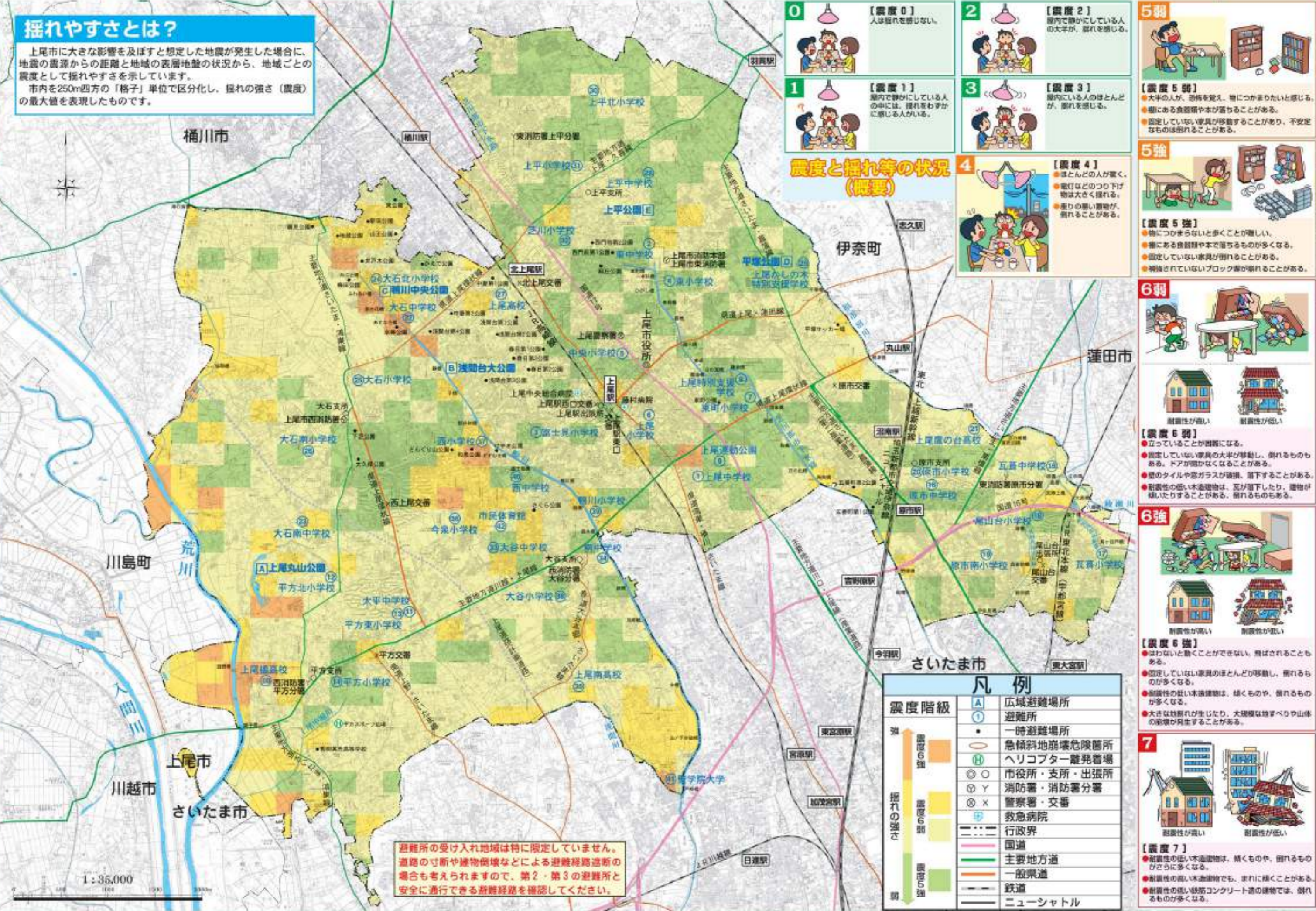


揺れやすさとは？

上尾市に大きな影響を及ぼすと想定した地震が発生した場合に、地震の震源からの距離と地域の表層地盤の状況から、地域ごとの震度として揺れやすさを示しています。
市内を250m四方の「格子」単位で区分化し、揺れの強さ（震度）の最大値を表現したものです。



震度と揺れ等の状況 (概要)

| | |
|-----------|---|
| 0 | 【震度0】 人は揺れを感じない。 |
| 1 | 【震度1】 室内で静かにしている人の中には、揺れをわずかに感じる人がいる。 |
| 2 | 【震度2】 室内で静かにしている人の大半が、揺れを感じる。 |
| 3 | 【震度3】 室内にいる人のほとんどが、揺れを感じる。 |
| 4 | 【震度4】 ほとんどの人が驚く。 ●電灯などのつり下げ物は大きく揺れる。 ●窓の軽い置物が、揺れることがある。 |
| 5弱 | 【震度5弱】 ●大半の人が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。 ●棚にある食器類や本が落ちることがある。 ●固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは揺れることがある。 |
| 5強 | 【震度5強】 ●物につかまらないうまく歩くことが難しい。 ●棚にある食器類や本が落ちるものが増える。 ●固定していない家具が倒れることがある。 ●破壊されていないブロック塀が倒れることがある。 |
| 6弱 | 【震度6弱】 ●立っていることが困難になる。 ●固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。 ●窓のガラスや窓ガラスが破損、落下することがある。 ●耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。 |
| 6強 | 【震度6強】 ●はわないと動くことができない。飛ばされることもある。 ●固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが増える。 ●耐震性の低い木造建物は、柱も倒れるものが増える。 ●大きな揺れが生じたり、大規模な地すべりや山体の崩壊が発生することがある。 |
| 7 | 【震度7】 ●耐震性の低い木造建物は、壊れるものが増える。 ●耐震性の高い木造建物でも、まれに壊れることがある。 ●耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものが増える。 |

凡例

| 震度階級 | 記号 | 説明 |
|------|-----|------------|
| 強 | A | 広域避難場所 |
| | ① | 避難所 |
| | ● | 一時避難場所 |
| | H | 急傾斜地崩壊危険箇所 |
| | ヘ | ヘリコプター離着陸場 |
| | ◎ | 市役所・支所・出張所 |
| | ⊗ | 消防署・消防署分署 |
| | ⊗ | 警察署・交番 |
| | ⊕ | 救急病院 |
| | --- | 行政界 |
| | — | 国道 |
| | — | 主要地方道 |
| | — | 一般県道 |
| | — | 鉄道 |
| | — | ニューシャトル |

避難所の受け入れ地域は特に限定していません。道路の寸断や建物倒壊などによる避難経路寸断の場合も考えられますので、第2・第3の避難所と安全に通行できる避難経路を確認してください。

1:35,000